様式第１号（第７条関係）

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金申請書

年　　月　　日

伊達市長

申請者　団体名

　代表者氏名

住所

　電話番号

１　手術に関すること

|  |  |
| --- | --- |
| 動物病院名 |  |
| 所在地 |  |
| 電話番号 |  |
| 実施日時 |  |

２　猫に関すること

|  |  |
| --- | --- |
| 適正管理を行う場所 | 伊達市 |
| 種　　類 | □雑種　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 毛　　色 |  |
| 性　　別 | □雄　　□雌 |
| 特　　徴 |  |

３　申請者とは世帯を別にする下記１名以上の確認により、所有者のいない猫であることを認めます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認者① | 住所 |  |
| 氏名 |  | 電話番号 |  |
| 確認者② | 住所 |  |
| 氏名 |  | 電話番号 |  |

【誓約事項】

私たちは、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金を申請するにあたり、次の事項について実施することを誓約します。

１ 不妊去勢手術にあたって、市内で保護した所有者のいない猫であることを確認します。

２ 不妊去勢手術には危険が伴うことを理解し、それらに伴う一切の問題について責任を負い、誠意を持って問題解決に努めます。

３ 不妊去勢手術にあたっては、特別な理由があると認められる場合を除き、手術済みであることの目印として雄猫は右の、雌猫は左の耳介先端部の一部をＶ字型に切除します。

４ 獣医師の判断により、不妊去勢手術を行わない場合があることを理解します。

５ 不妊去勢手術を実施可能な診療施設を自ら確保し、その実施を依頼します。

６ 診療施設と調整の上で、対象となる猫を捕獲し、搬入するとともに、手術等の実施後、誠意をもって当該猫を手術等の実施前の生息場所に戻します。

７ 不妊去勢手術の実施後において、飼い主のいない猫を手術実施前の生息場所に戻すにあたっては、適正管理を図り、近隣住民の理解を得るように努めます。

８ 不妊去勢手術を実施した猫のうち譲渡可能なものについては、終生屋内飼養をする者への譲渡に努めます。

９ 上記に掲げる誓約事項のほか、不妊去勢手術等の実施について、市長が必要と認める事項を遵守します。

写真貼付欄

手術の実施前における対象の猫の両耳を含む全体像が確認できる

Ｌ版以上のカラー写真とする。※撮影日時が確認できる写真を用いること。